

	バードランド	虎や	コバガーデン	ノック	カブ	わかば堂
18:30		●				
19:00	●		●	●		●
19:30						
20:00		●			●	
20:30	●		●	●		●
21:00						
21:30					●	
22:00						

状況により多少時間を変更する場合がございます。

開始時刻一覧

チケット販売案内 バードランド、コバガーデン、FANDANGO!Records、
 日中の購入はこちらで→ fresh-flower.com、椿屋2、Gスクエア
 電話番号は地図を参照ください

前売りチケット
¥2,500 (当日¥2,800)

※夜は各会場で購入できません。詳細は会場
 店舗にお問い合わせください。 ※当日は立見の場合もございませう。またお席の関係上、入場を制限させていただくこと
 ございませうので、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

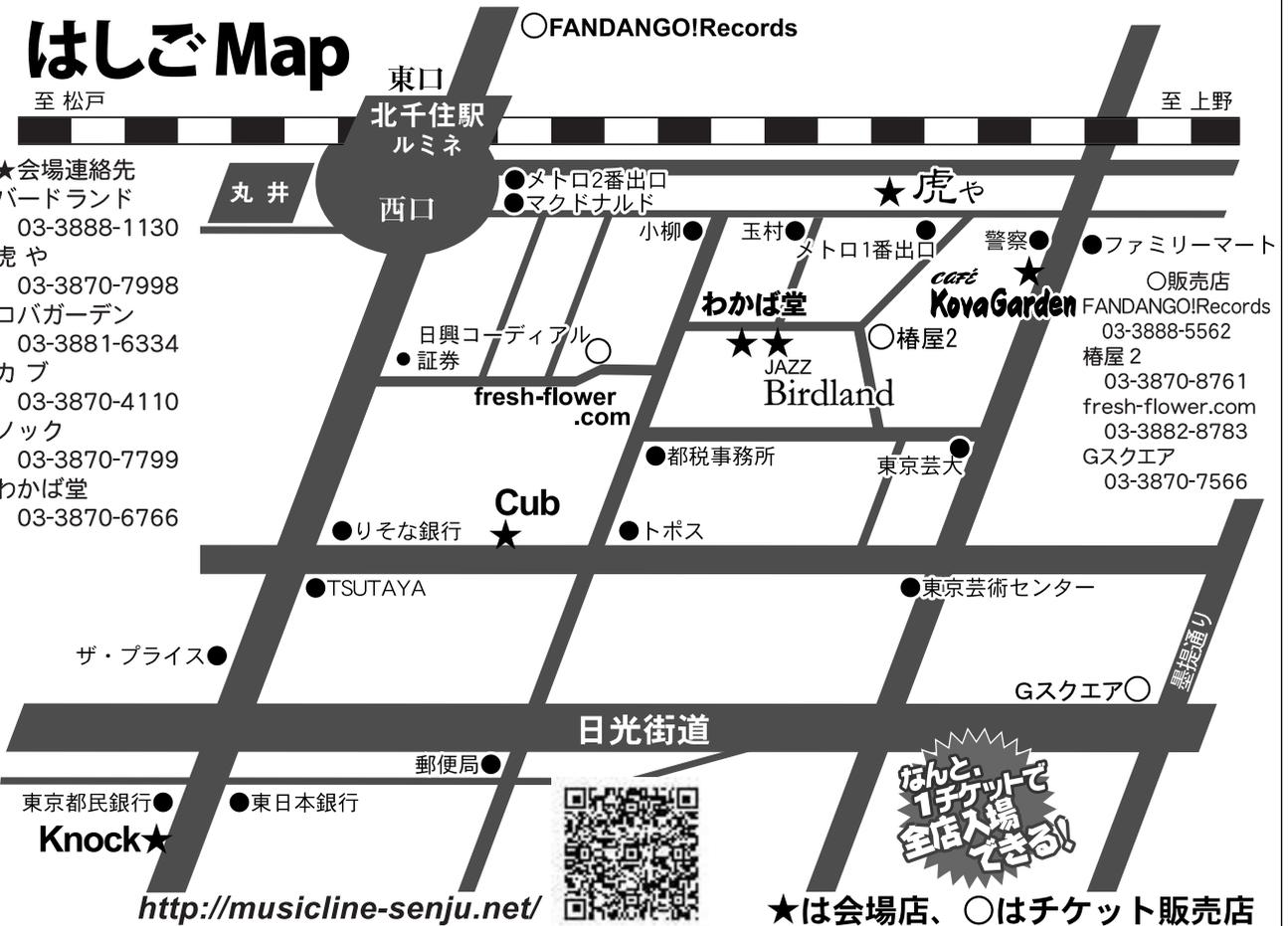
ミュージックライン千住 はしごライブって?

たった一枚のチケットだけで、各ライブ会場を自由に行ったり来たりできる、千住発の同時開催型ライブイベント。
 しかもボランティアからなる実行委員会で運営される為、料金は超お得!

生演奏が目の前で体験できるという、贅沢でわがまま放題の内容。
 これはもう絶対足を運ばなきゃ損!

今までも嬉しいハプニング続出で、これは体験した人たちにしかわかりませう。
 日常とは違う、ここでしか味わえない空間。是非体験してみてください!

ミュージックライン千住 はしごマップ



ミュージックライン千住

発行元
 ミュージックライン千住
 実行委員会
 第15号

Vol.13 音楽で日本を元気に 千住からも発信します

あの東日本大震災から一年が経とうとしていませう。昨年の三月十一日、日本が変わりませう。さまざまな問題で明るい未来が遠くなつてしまつた様で、それでも、復興を信じて立ち上がる人たちが頑張つてませう。

もういろいろなジャンルのライブを楽しませう。ヨーロッパの風が吹いたかと思えば、下町浅草の定食のおいがしたり、マシナルがロックで唸れば、サクサクがブルースで囁ませう。どうぞ、自由にはしごライブをお楽しみください。

ミュージックライン千住 Vol.13は、三月一日に六会場で開催しませう。もちろん、一枚のチケットでどの会場にも入れませう。今回は「音楽で日本を元気に」をキャッチフレーズとして、千住からも笑顔を送りませう。言葉では伝えきれない思いを音楽に乗せて奏でませう。その思いがこもつた音楽を、ご来場のお客様が笑顔で楽しんでませう。その笑顔が復興を願う被災の方々に、エールとなることを信じていませう。



では、Vol.13に参加するミュージシャンを紹介させていただきます。
【事務局長】
 コバ・ガーデン 友繁健人、マリア・ホセ・アルバレス・カテナス、木村美江
 心に響き 印象の残るフラメンコのリズム。その独特のアクセントとテンポを「コンパス」と呼ぶ。踊りと鳴り響く靴音、歌声とパルマ手拍子、そしてギターの音色。コンパスを刻み合わせることで流れ生じる。そんな世界観に魅せられて今回もフラメンコをお届けしませう!

友繁健人は、Paco Tronjio, Fernando Angel Utrera, Angelita Vargas, Jose Mangano, Jose Alaristaと共演、スペインで認められた数少ない日本人の一人。
 一九五四年兵庫県芦屋生まれ。一六歳の時ギターを三澤勝弘氏に師事。一九八〇年渡西。一九八一年よりセビージャのタブラオLa TOROCH Aに出演。
 また、OFS社を設立し、世界のフラメンコ練習生のリズム教本『SOLO COMPAS』CDシリーズをプロデュース。スペイン在住。
 Maria Jose A Alvarez Cadena, 一九六五年セビージャ生まれ。幼少よりフラメンコに親しみ、各地のフイエスタで歌う。セビージャ市主催AULA DE FLAMENCOやマエストロJose Galianaのグループに参加。生まれた時から体の中にコンパスが刻みこまれたその声は、ムイフラメンコ(とてもフラメンコ的)である。Tango, Alicantas, Bullerinas, Malagueñas, Soleaなどを得意とする。

木村美江、フラメンコを斎藤悦子、ラファエラ・カラスコ、アドリアン・ガリア、ベニー・ガルシア等、多数の日本人、スペイン人アーティストに師事。
 Kova Garden 初フラメンコライブから数回の出演をした親しみある存在でもある。



松戸にて夫が経営する貸スタジオ&カフェVerdeを始め、都内にてライブ活動を行う。
【チエ】
バードランド
 峰 厚介カルテット
 格のあるテナーサウンドはまさに一級品、日本の至宝、今や日本のジャズ界を代表するテナーサクスの第一人者である。
 またピアノの清水絵理子は押しも押されぬ峰バンドのオリジナルメインピアニストであり、峰も絶大なる信頼を寄せ、彼女なくして峰バンドは有り得ないと言つても過言ではない。その獨創性、グルーブ感、スウィング感、サウンドのバランスの良さ全てが峰ワールドとリンクしグループとしてのモチベーションを高めている。

バックを務める若手のベニス杉本智和も最近では中堅ベニシスト奏者としての地位を確立し始めて、高度なテクニクと個性、ドライブ感、揺るぎないものがある。
 最後にベテランドラムの村上寛、彼は安定したリズムサポートを担

3月10日(土) 開演 18:30~

MUSIC LINE SENJU Vol.13

はしごライブ

さあこの奇跡のバンド演奏をじっくり堪能下されませう。
【森川】
 うだけではなく若手の清水や杉本を最後方から時には鼓舞し、左右に仕掛けてくる、勿論これには峰も刺激され新たなエモーションとなつてスリリングで濃厚なグルーブサウンドとなるのだ。